

表6-5 牧草地の施肥基準

区分	H14年度 播種量 面積(ha) (kg/10a)	施肥量 (kg/10 a) ¹⁾						成分						
		草地化成		複合	尿素	重過石	熔 磷	タンカル	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO		
		212号	211号	尿素磷加安777号	(46%)	(38%)	(20%)							
耕 地 内	早 春		20				2.6				5.2	2.0	4.0	
	採 一 番刈後		10				4.1				3.9	1.0	2.0	
	二 番刈後		15								3.0	1.5	3.0	
	三 番刈後		5							20	1.0	4.5	1.0	
	合 計	38.88	50				6.7			20	13.1	9.0	10.0	
放 牧 地	早 春			20							4.0	2.0	2.0	1.0
	追 肥 ²⁾			45							9.0	4.5	4.5	2.3
	合 計	8.54		65							13.0	6.5	6.5	3.3
更新地 ³⁾	3.45	3.5 ⁴⁾			30			30	50	100	5.1	26.5	5.1	
北山放牧地 ⁵⁾	105.30		40								8.0	4.0	4.0	2.0

水色のセルは表の値が間違っていると思われたため訂正したもの

1) 表1-1にあげた施肥基準は収量3tとし、採草地には以下に示す通り、収量が1t増すごとに草地化成212号を25kg増しとした。また、放牧地については加里を窒素の半分とした。

採草地施肥成分(kg/10a)

収量(10a当たり)	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
3t	13.1	7.0	10.0
4t	18.1	9.5	15.0
5t	23.1	12.0	20.0
6t	28.1	14.5	25.0

2) 放牧地追肥は年3～5回に分施した。

3) 8号(1.45ha)および21号の2(2.00ha)

4)オーチャードグラス2.0kg/10aおよびトールフェスク1.5kg/10aを播種した。

5)北山放牧地追肥日

4月23日	尿素	70袋(20kg入り)
8月29日	草地化成211号	30袋(200kg入り)
9月16日	草地化成211号	30袋(200kg入り)